

令和元年度 技術科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ ICT機器の活用により、学習内容の確認や定着がスムーズに行うことができた。
- ・ 作業効率を考えた説明を行い生徒の活動の時間を増やすことができた。

(2) 課題

- ・ 説明をしっかりと聞き、本時の課題やねらいを自覚し、自ら自立して活動する力。
- ・ ペア学習や、班のリーダー的存在を中心とした対話活動等、協働学習の充実。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
学習内容を自身の言葉で確認する機会を設けたり、互いに話し合い発表することで、対話力、表現力等を身につける。	日常生活における問題を工夫し解決するために、学習内容をどのように活用するのかをレポート形式にまとめる。	教科の特性を適切に理解し、自身の生活をより豊かにするために思考、判断力等を自ら選択し、実施できる機会を設ける。	自己評価カード、ワークシートや他者作品評価カードなどを活用し、知識の定着を相互に確認・評価できるようにする。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
学習内容を自身の言葉で確認する機会を設けたり、互いに話し合い発表することで、対話力、表現力等を身につける。	日常生活における問題を工夫し解決するために、学習内容をどのように活用するのかをレポート形式にまとめる。	教科の特性を適切に理解し、自身の生活をより豊かにするために思考、判断力等を自ら選択し、実施できる機会を設ける。	自己評価カード、ワークシートや他者作品評価カードなどを活用し、知識の定着を相互に確認・評価できるようにする。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
学習内容を自身の言葉で確認する機会を設けたり、互いに話し合い発表することで、対話力、表現力等を身につける。	日常生活における問題を工夫し解決するために、学習内容をどのように活用するのかをレポート形式にまとめる。	教科の特性を適切に理解し、自身の生活をより豊かにするために思考、判断力等を自ら選択し、実施できる機会を設ける。	自己評価カード、ワークシートや他者作品評価カードなどを活用し、知識の定着を相互に確認・評価できるようにする。